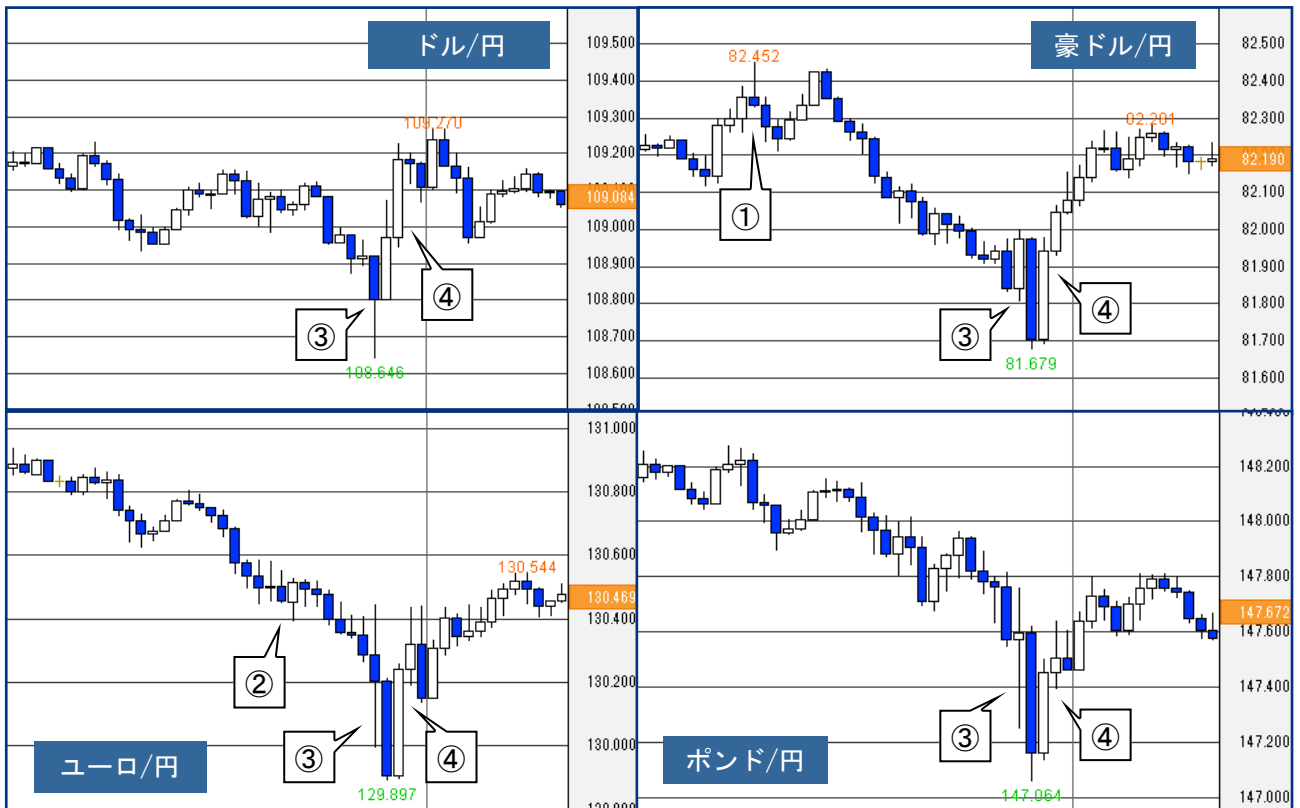


5月7日(月)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## 米4月雇用統計は決め手欠く

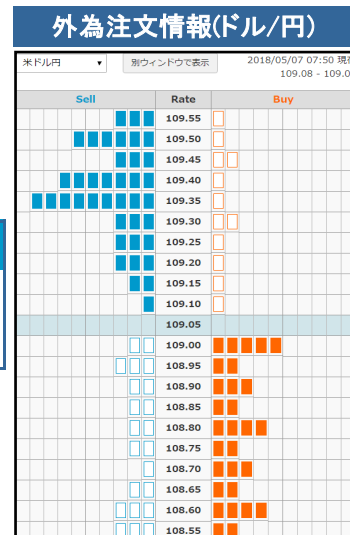
### 4日(金)の為替相場



期間：4日(金)午前6時10分～5日(土)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 豪中銀(RBA)が四半期金融政策報告を発表。「経済成長は年内に3.25%に加速し、19年6月までにピークの3.5%へ」「失業率は、5.5%前後で推移し、19年半ばまでに5.25%に低下、20年まで同水準に」「基調的インフレ率は、今年半ばまでに中銀目標(2-3%)の下限に達するが、20年6月までは2.25%に到達しない」などとする見通しが示された。その上で、ロウRBA総裁は「経済が引き続き予想通りに推移すれば、いずれは金利引き上げが適切となる可能性」「理事会は目先の政策金利調整を正当化する強い根拠があるとはみていない」と発言した。
- ② ユーロ圏4月サービス業PMI・改定値が54.7となり速報値(55.0)から下方修正されたのに続き、ユーロ圏3月小売売上高は前月比+0.1%と、市場予想(+0.5%)を下回る伸びにとどまった。
- ③ 米4月雇用統計は、非農業部門雇用者数が16.4万人増(予想19.3万人増)、失業率が3.9%(予想4.0%)、平均時給は前月比+0.1%、前年比+2.6%(予想+0.2%、+2.7%)という結果であった。失業率こそ17年4カ月ぶりに3%台へ低下して改善したが、非農業部門雇用者数の増加幅や平均時給の伸びが予想を下回る冴えない内容となった。発表直後はドル売りが優勢となる中、ドル/円が下落した一方、クロス円は方向感が出なかった。
- ④ 冴えない雇用統計を受けて米連邦準備制度理事会(FRB)が利上げペースを加速させる事はないとの見方が広がると、小安く始まった米国株が上昇に転じた。これを眺めてドル/円やクロス円は、この日の安値圏から切り返した。

4日(金)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
休場	6062.893 ▼35.382	3091.033 ▼9.826	7567.14 △64.45	12819.6 △129.45
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24262.51 △332.36	休場	2.770% ▼0.040	1.400% △0.010	0.544% △0.012
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.4969% △0.0207	2.9497% △0.0039	69.72 △1.29	1314.70 △2.00	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	108.600-109.800	129.800-131.200	81.600-82.700	147.000-148.600

【ドル/円】

4日のドル/円は109円ちょうどを挟んだもみ合いとなり、方向感が定まらなかった。注目の米4月雇用統計は、失業率こそ予想以上に改善したが非農業部門雇用者数と平均時給が予想に届かなかった。どちらかと言えば不冴えな内容であったが、失望的というほどでもなかった。本日のドル/円は、雇用統計後の安値(108.65円前後)と高値(109.27円前後)をどちらに抜けるかが焦点となりそうだ。ドル高の流れは大きく変わっていないと見るが、現値より上には日足一目均衡表の転換線(109.34円前後)や2日に付けた3カ月ぶり高値(110.03円前後)に加えて200日移動平均線(110.20円前後)など、抵抗になりそうなポイントも少なくない。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
5/7(月)	10:10		(日) 日銀国債買入れオペ(1~5年、10~25年、25年超)	-	-
	10:30		(豪) 4月NAB企業信頼感	7	-
	15:00		(独) 3月製造業受注(前月比)	+0.3%	+0.5%
	21:25		(米) ポスティック・アトランタ連銀総裁、講演	-	-
	27:00		(米) バーキン・リッチモンド連銀総裁、講演	-	-
	28:00		(米) 3月消費者信用残高	+106.01億USD	+160.00億USD
	28:30		(米) カプラン・ダラス連銀総裁、講演	-	-
	28:30		(米) エバンズ・シカゴ連銀総裁、講演	-	-

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。